

CREATE HOPE in the WORLD



第2780地区
大磯ロータリークラブ



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度RI会長
ゴードン R. マッキナリー

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 瀬戸 亨一 会長エレクト 田中 敏治 幹事 新宅 文雄

第2589回

例会

令和6年3月7日 No.20

■司会：布川史明

■点鐘：瀬戸 亨一

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム・

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2589回	15(14)	8	57.14%	—	—
2587回	15(14)	8	57.14%	—	—

◇欠席者（6名）

原、太田、石山、井上、河本、鈴木さん

◇メイクアップ（0名）

◇点鐘

こんにちは、本日はいつもと違う部屋で気分もちょっと変えて、本日の例会も楽しくやりましょう！
点鐘します。

◇おめでとうございます



藤田眞喜子会員
(3/9)
結婚記念日祝

◇会長報告

瀬戸亨一会長



コロナもインフルエンザも大分落ち着いて参りましたが、体調の方は如何でしょうか。
ここ最近では気温の変動が激しく、暑いか、寒いかど



ちらかとといった日々が続いています。

私は花粉に悩まされています。この後も風邪を引かないように心掛けましょう！

本日は「ロータリーの友」から飯田さんがお見えになって頂いた事、大変嬉しく思います。

「ロータリーの友」掲載の打合せをしている中で飯田さんにダメもとで卓話をお願いしてみたら快く引き受けてくださりました。

ウガンダのトイレ建設を取り上げてくださったと言う事は地区補助金を利用している事や事業の内容もきちっと国際ロータリーの日本事業部？見ていたださっているのかと感じさせて頂きました。

なんとなく、小さなこの町でウガンダに支援をしている事が世界の様々な奉仕活動から見ると小さすぎて、価値観が薄れていたところでした。

「ロータリーの友」と言えば全国のクラブを知り尽くし、あらゆる情報が届く組織であると思います。

「ロータリーの友」さんしか知りえない情報を聞かせて頂けるのかと思います。後程、卓話楽しみにしています。

2月29日の平塚さんとの合同例会は如何でしたでしょうか。

例会の進め方にも違いがあって、大変良い経験が出来ました、多くの会員さんが要るクラブだと話題も沢山あって楽しいなと思いました。

平塚の白石会長からもまたよろしくお願ひしますと言って頂きました。

2月の会長幹事会の報告です。

先ずはIMが無事に終れたことの安堵した気持ちを林AGから報告され、各クラブにお礼の言葉を話されていました。

その中で、クラブ運営状況を報告する事になりまして、どこのクラブも同じ話題になるのが、会員数と会費と収支のバランスが崩れていて、このまま続けて行くことが大変だと報告が各クラブからありました。

本日の理事会でもこの件を話し合わなければならないのですが、我がクラブも同様に収支のバランスに問題があります。

個々に今できる事は何でしょうか、奉仕の心を持って、またその気持ちを維持して、事業に積極的に参加する事だと思います。

4月21日には地区研修協議会がありますので、参加できるように仕事の調整を今から準備しておいてください。



#、2月29日は平塚RCとの合同例会にご出席・ご協力いただき有難うございました。何故、大磯プリンスホテルではなかったのか？随分言われましたね。第8Gでは、矢張り、大磯RCの例会場が最もグレードが高いと皆さんが認めておられます。我々の誇りです。

<幹事報告>

#、2024年3月のロータリーレートは、1ドル=151円です。

#、先の会長報告にもありましたが、3月2日に行われた第2780地区の交換留学生日本語スピーチコンテストでダヴィット君が優勝しました。

本人の努力の積み上げがあり、加えて瀬戸会長はじめ、田中カウンセラー、ホストファミリー、大磯高校の友人、関係各位のフレンドリーシップも大きく寄与したものと存じます。クラブを上げて喜びたいと思います。これから、全国大会があります、大いに頑張ってもらいたいですね。

#、RI日本事務局財団室ニュース3月号が送信されてきました事は、既に内容と共に報告しました。3月は「水と衛生月間」です。大磯RCでは、ウガンダにトイレ設置したことが「ロータリーの友」に掲載され、4年前でしたか、瀬戸会長が現地視察の為に、アフリカのウガンダまで行ってくれました。今日は「水と衛生月間」に因んで、「ロータリーの友」誌の編集部から飯田亜由香様が卓話にお見えになりました。朋遠方より来る有り、又楽しからずやです。私はロータリーの友は時代に沿って読み応えがある様に編集され、如何に読ませるか考えて、どんどん変遷していると思っております。発行部数は減っていると思いますが、一般の本屋さんでも販売可能な雑誌に編集して売って見たら如何ですか？

#、2024年 地区研修協議会が4月21日（日）10：30点鐘、横須賀の県立保健福祉大学で開催されます。出席者の登録締切が3月19日となっております。従って本日、決めなければなりません。

よろしくお願ひ致します。

#、地区からロータリーフェス2024開催（6月29日）横須賀ヤンガーザンイエスタディの連絡と出演バンド募集しています。くわしくは回覧します。

締切が3月15日です。

#、本日の配布物：地区研修協議会開催のご案内、ロータリーの友3月号

◇委員会報告：

☆出席報告

布川史明委員

☆スマイルボックス

藤田眞喜子委員



・瀬戸亨一会長：ロータリーの友事務所 飯田亜由香様ようこそいらっしゃいました。本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。藤田さん結婚記念日おめでとうございます。

・新宅文雄幹事：「ロータリーの友」編集部 飯田亜由香様、遠路本日はご苦勞様です。卓話よろしくお願ひ致します。藤田さん結婚記念日おめでとうございます。

・布川史明会員：藤田さん結婚記念日おめでとうございます。飯田亜由香様ようこそお越しくださいました。本日は卓話よろしくお願ひいたします。

・藤田眞喜子会員：結婚記念日♪を祝っていただきましてありがとうございました。「お互いに切れない振り赤い糸」

☆青少年交換留学生報告

田中敏治カウンセラー



こんにちは、交換留学生カウンセラーの田中です。交換留学生について三点お知らせいたします。

1. 3月2日に交換留学生のスピーチコンテストが第4グループIM会場で開催されました。ダヴィッドさんは9名のスピーチ発表者の中から1位の優秀賞に選ばれ代表として山形スピーチ大会出場が決定しました。2位はメキシコのパテリシオさんで3位はドイツからのアレックスさんでした。ダヴィッドさんの話した内容としては日本に来るまでの目標や目的について、学園生活で感じ学んだことなどを話していました。日本人は協調性が高く他人への思いやりが強くみんな頑張っている、その姿勢に感動し自分も頑張ろうという気持ちになったそうです。また最後にロータリーの交換留学制度について感謝の言葉も述べていて非常に成長していてうれしかったです。他の留学生達も日本語が上達したなと思いました。

2. 留学生の帰国日程についてですが8月10日の予定になりますので了承をお願いします。また帰国に伴い恒例の送別会を予定しております。予定日としては6月29日を予定しておりましたが、帰国が8月10日ですので期間がだいぶあくので送別会の日程につきましては理事会で再検討するということがよろしいでしょうか。また、送別会を行うことについては承認して頂いたとのことによろしいでしょうか。

3. ダヴィッドさんのご両親が5月2日から5月12日まで来日する予定です。滞在中にクラブとHFにご挨拶をしたいようなので日程が確定次第ご連絡します。以上になります。

◇卓話

◆ロータリーの友◆

一般社団法人ロータリーの友事務所
編集部 飯田亜由香様



『ロータリーの友』（以下、『友』）は国際ロータリー（R I）の機関雑誌です。ロータリアンにはR

Iが認可したロータリーの雑誌の購読義務があります。日本のロータリアンは、アメリカ本部で発行している『ROTARY』誌もしくは、『友』を購読することになっています。

『友』がロータリーの地域雑誌として認められるために、R I本部が指定する記事を掲載しなければなりません。同時に、ロータリアンにはロータリーの雑誌を購読する義務があります。ロータリアンは、会長メッセージや財団管理委員長メッセージ、国際大会の参加推進記事といったR I本部が指定した記事を読む必要があります。

『友』の購読者は、印刷媒体か電子媒体を選択できます。最新号は毎月1日に更新され、1953年1月の創刊号を含むバックナンバーを全てご覧いただけます。

『友』は、R Iの公式情報を掲載しつつ、創刊当初の目的である国内のロータリアンの情報交換や親睦を深めるような記事の掲載を続けています。

『友』の大きな特徴として、表紙が2つあり、横組み、縦組みで構成されるということが挙げられます。創刊時は、全て横書き（横組み）でした。しかし、俳句を掲載するようになり、部分的に縦書き（縦組み）で掲載するようになりました。その後、横書き、縦書きが混在していましたが、縦書きで掲載する記事も増えてきたため1972年1月号から横書きと縦書きを分けた形式になりました。この時から、表紙は2つになりました。現在、横組みでは、R I関係の記事、特集、ロータリーに関する理解を深める記事を中心に取り上げています。今年度から、ロータリークラブ・地区の活動を紹介するロータリーアットワークを横組みの掲載に変更しました。縦組みは、エッセー、俳句など趣味のコーナー、知識が広がる講演や卓話の要旨、など会員同士の親睦を深められるような記事を掲載しています。

クラブの活動やロータリーで疑問に思っていること、直接的にロータリーとは関係せずとも、読者の仲間に伝えたいエピソードなど、友事務所までお送りください。全国のまだ知らないロータリアンからの反響があるかもしれません。投稿がきっかけで、友達ができた、同じ趣味のグループができたという声もあります。

『友』が創刊したきっかけは、1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されたことでした。分割後も、お互いの地区のことを知りたいという思いから、翌1月両地区の懸け橋として生まれた雑誌です。それ以来、『友』は日本のロータリアンを結ぶお手伝いをしています。

『友』は、「ロータリーの目的」を推進し、ロータ

リアンの親睦を育む役に立つ雑誌を目指します。今後とも、ご講読、ご愛読をよろしくお願ひします。

